

外岡慎一郎教授年譜・著作目録

【学歴等】

一九五四年十月 神奈川県横浜市生まれ

一九七三年三月 神奈川県立希望ヶ丘高等学校卒業

一九七八年三月 中央大学文学部史学科（国史学専攻）卒業

一九八一年三月 中央大学大学院文学研究科（国史学専攻）博士前期課程修了

一九八四年三月 中央大学大学院文学研究科（国史学専攻）博士後期課程単位取得満期退学

二〇一八年三月 中央大学 博士（史学）

【職歴】

一九七九年四月 東京大学史料編纂所非常勤職員（一九八六年三月）

一九八四年四月 神奈川県立外語短期大学付属高等学校非常勤教員（一九八六年三月）

一九八六年四月 学校法人敦賀学園・敦賀女子短期大学日本史学科（のち敦賀短期大学地域総合科

学科）専任教員（二〇一三年三月）

二〇〇七年四月 放送大学福井学習センター客員教員（二〇一三年三月）

二〇一三年四月 敦賀市立博物館館長（二〇一八年三月）

二〇一四年四月 敦賀市立看護大学非常勤教員（二〇一八年三月）

二〇一八年四月 奈良大学文学部史学科教授（二〇二五年三月）

【社会的活動歴（学外委員等）】

（現職）

日本古文書学会理事（二〇〇九年）

福井県文化財保護審議会委員（二〇一六年）

福井県南越前町・史跡仙山城跡整備検討委員会委員（二〇二一年）

福井県立若狭歴史博物館協議会委員（二〇二一年）

福井県敦賀市文化財保存活用地域計画策定委員会委員（二〇二二年）

福井県立こども歴史文化館運営委員会委員（二〇二三年）

福井県坂井市龍翔博物館館運営委員会委員（二〇二三年）

福井県文書館アドバイザー（二〇二三年）

福井県小浜市・史跡後瀬山城跡保存活用懇談会委員（二〇

二四年）

（過去、おもなもの）

福井県立歴史博物館協議会委員、福井県嶺南地域流域検討
会委員、福井県南越前町・史跡杣山城跡保存活用計画策定
委員会委員、同整備活用計画策定委員会委員、福井県小浜
市・史跡後瀬山城跡保存活用計画策定委員会委員、同整備
活用計画策定委員会委員、福井県敦賀市文化財審議会委員、
敦賀市総合計画教育文化部会委員、敦賀市立図書館協議会
委員

【著書】

（単著）

『武家権力と使節遵行』（二〇一五年、同成社）

『大谷吉継』（二〇一六年、戎光祥出版）

『関ヶ原を読む』（二〇一八年、同成社）

（分担執筆）

『福井県史』通史編2・中世（一九九五年、福井県）

『宮津市史』史料編第一巻・原始～中世（一九九六年、京

都府宮津市）

『中世諸国一宮制の基礎的研究』（中世諸国一宮研究会編、

二〇〇〇年、岩田書院）

『今日の古文書学』第三巻・中世（高橋正彦ほか編、二〇

〇〇年、雄山閣）

『宮津市史』通史編上巻・原始～中世（京都府宮津市、二

〇〇二年）

『街道の日本史』三一・近江若狭と湖の道（藤井譲治編、

二〇〇三年、吉川弘文館）

『久美浜町史』資料編古代・中世（京都府久美浜町、二〇

〇四年）

『わかさ美浜町誌』第二巻「祈る・祀る」（福井県美浜町、

二〇〇六年）

『わかさ美浜町誌』第七巻「記す・遺す」（福井県美浜町、

二〇〇七年）

『わかさ美浜町誌』「ふりかえる美浜」（福井県美浜町、二

〇一〇年）

『越前・若狭 武将たちの戦国』（福井県郷土誌懇談会編、

二〇二三年、岩田書院）

【調査報告書等】

『丹後漁業関係古文書目録』（分担執筆、京都府教育委員会、

一九九四年）

『鹿王院文書目録』（分担執筆、京都府教育委員会、一九九

七年）

『賀茂別雷神社文書目録』（分担執筆、京都府教育委員会、

二〇〇三年）

『伊根浦（伝統的建造物群保存対策調査報告書）』（分担執筆、

京都府与謝郡伊根町教育委員会、二〇〇四年）

『大般若経』詳細調査報告書（大飯町龍虎寺）（単著、福

井県大飯町教育委員会、二〇〇四年）

『神護寺聖教目録』（分担執筆、京都府教育委員会、二〇〇

六年）

『京都府熊野郡久美浜稲葉家資料調査報告書』（分担執筆、

京都府教育委員会、二〇〇八年）

『敦賀屋』関係史料調査報告書Ⅰ（単著、敦賀市教育委

員会、二〇〇八年）

『敦賀屋』関係史料調査報告書Ⅱ（単著、敦賀市教育委

員会、二〇〇九年）

『敦賀屋』関係史料調査報告書Ⅲ（単著、敦賀市教育委

員会、二〇一〇年）

『越知神社・劔神社・瀧谷寺文書目録』福井県白山信仰関

係古文書調査報告書』（分担執筆、福井県教育委員会、

二〇一二年）

『大音家文書目録』（分担執筆、福井県教育委員会、二〇一

九年）

【論文】

「鎌倉時代鶴岡八幡宮に関する基礎的考察」（『中央史学』

三号、一九八〇年）

「鎌倉時代における鶴岡八幡宮領の構成と機能」（『日本歴

史』四一八号、一九八三年）

「鎌倉幕府指令伝達ルートの一考察」（『古文書研究』二二二号、

一九八三年）

「六波羅探題と西国守護」（『日本史研究』二六八号、一九

八四年）

「鎌倉後期の公武交渉について」（『敦賀論叢』一号、一九

八六年）

「ある手継証文からみた敦賀の中世」（『敦賀論叢』三号、

一九八八年）

「鎌倉～南北朝期の備後・安芸」〔『年報中世史研究』一五号、一九九〇年〕

「一四～一五世紀における若狭国の守護と国人」〔『敦賀論叢』五号、一九九〇年〕

「鎌倉末～南北朝期の守護と国人」〔『ヒストリア』一三三号、一九九一年〕

「使節遵行に関する覚書」〔『敦賀論叢』七号、一九九二年〕

「中世氣比社領の基礎的考察」〔『福井県史研究』一一号、一九九三年〕

「中世後期の氣比社領について」〔『敦賀論叢』九号、一九九四年〕

「中世の氣比神人とその周辺」〔『福井県史研究』一四、一九九六年〕

「使節遵行と在地社会」〔『歴史学研究』六九〇号、一九九六年〕

「鎮西探題と九州守護」〔『敦賀論叢』一一、一九九六年〕

「西楽寺相論と中世洪恩院領」〔前掲『鹿王院文書目録』、特論、一九九七年〕

「得宗被官論の周縁」〔『敦賀論叢』一三三号、一九九八年〕

「大谷吉継と敦賀」〔『敦賀論叢』一五号、二〇〇〇年〕

「中世の金津」〔福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報告書』Ⅰ、二〇〇一年〕

「中世若狭の市庭Ⅰ」〔福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報告書』Ⅱ、二〇〇二年〕

「青蓮院坊官大谷家と大谷吉継」〔『敦賀論叢』一七号、二〇〇二年〕

「中世若狭の市庭Ⅱ」〔福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報告書』Ⅲ、二〇〇三年〕

「鎌倉幕府と東国守護」〔『敦賀論叢』一九号、二〇〇四年〕

「中世若狭の市庭Ⅲ」〔福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報告書』Ⅳ、二〇〇四年〕

「中世敦賀津の舩米について」〔『敦賀論叢』二〇号、二〇〇五年〕

「中世敦賀津の地域構成」〔福井県教育委員会『福井県歴史の道調査報告書』Ⅵ、二〇〇六年〕

「若狭国の賀茂祭と宮河荘」〔石川登志雄・宇野日出生・地主智彦編『上賀茂のもし・やしろ・まつり』、思文閣出版、二〇〇六年〕

「建武政権期の使節遵行について」〔『敦賀論叢』二二号、二〇〇七年〕

「村のなかの契約ごと」(坂田聡編『禁裏領山国荘』、高志書院、二〇〇九年)

「鎌倉幕府と西国社会」(川岡勉・古賀信幸編『西国の権力と戦乱』、清文堂出版、二〇一〇年)

「天正地震」と越前・若狭」(『敦賀論叢』二六号、二〇一二年)

「越前・若狭の歴史地震・津波…年表と史料」(『敦賀論叢』二七号、二〇一三年)

「史料と展示…「天正地震」の史料を読む」若狭湾に津波は襲来したか」(『歴史学研究』九〇三号、二〇一三年)

「安政東南海地震と敦賀」史料を読む」(『敦賀市立博物館紀要』二八号、二〇一四年)

「災害伝承と古文書資料」(『北陸の民俗』三一号、二〇一四年)

「史料紹介…氣比神宮蔵『日次記』」(『敦賀市立博物館紀要』二九号、二〇一五年)

「越前敦賀」(仁木宏・綿貫友子編『中世日本海の流通と港町』、清文堂出版、二〇一五年)

「大谷吉継年譜と若干の考察 付関係文書目録(稿)」(『敦賀市立博物館紀要』三〇号、二〇一六年)

「歴史手帖…二日酔いの大谷吉継」(『日本歴史』八二〇号、二〇一六年)

「大谷吉継の関ヶ原Ⅰ～関ヶ原への途」(『敦賀市立博物館紀要』三一号、二〇一七年)

「敦賀湊と大谷吉継」(『土木技術』七二巻八号、二〇一七年)

「西福寺文書」二通の「すけつな置文」～再会に寄せて」(『敦賀市立博物館紀要』三二号、二〇一八年)

「桃井雄三家所蔵文書の概要付・個別解説」(『越前町織田文化歴史館研究紀要』五号、二〇二〇年)

「史料紹介…応安貳年四月廿五日 河野辺駿河守某施行状」(『奈良史学』四〇号、二〇二三年)

「史料紹介…明応九年八月十二日遊佐順房・(姓未詳)直賢連署奉書」(『奈良史学』四一号、二〇二四年)

「大谷吉継の家臣とその編成」(『奈良史学』四二号、二〇二五年)

(書評)
桜井彦著『悪党と地域社会の研究』(『歴史学研究』八二五号、二〇〇七年)

森幸夫著『六波羅探題の研究』(『古文書研究』六三号、二〇〇七年)

瀬野精一郎著『鎌倉幕府と鎮西』（『史学雑誌』一二二卷三
号、二〇一二年）

高橋慎一朗編『列島の鎌倉時代―地域を動かす武士と寺社』
（『日本歴史』七六六号、二〇一二年）

西田友広著『鎌倉幕府の検断と国制』（『歴史学研究』九〇
四号、二〇一三年）

河村昭一著『南北朝・室町期一色氏の権力構造』（『日本歴
史』八三二号、二〇一七年）

黄霄龍著『日本中世の地方社会と仏教寺院』（『歴史評論』
九〇五号、二〇二五年）